

広報いいいで

1

16, January
2014
Vol.1042

●新春対談

飯豊町長
後藤幸平 ×

カルビー株式会社相談役
松尾雅彦

100歳を祝う

ししゃわせ
ししゃわせ



横山千代子さん（上原）大正4年3月19日生まれ

なんだって
ししゃわせだ



竹田よしさん（黒沢）大正4年8月7日生まれ

しんぱいに
なりまして



横澤さくさん（黒沢）大正4年10月20日生まれ

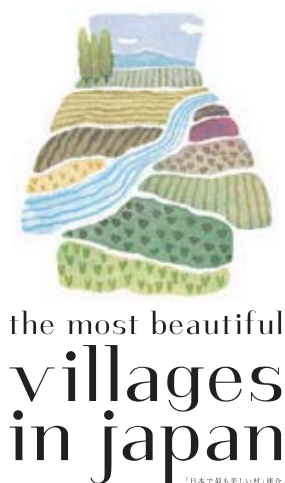
- 03 年頭のごあいさつ
- 04 新年号特集◎新春対談
飯豊町長 後藤幸平×カルビー株式会社相談役 松尾雅彦
- 08 平成26年度第一小学校建設スタート
- 10 いいで未来号Ⅴ
- 12 町県民税申告相談会のお知らせ
- 14 まちかどNEWS
旧中津川小中学校で「クリスマスPARTY」／飲酒運転撲滅キャンペーン／園児とのふれあい学習 ほか
- 16 まちかどスナップショット
- 17 表彰者の紹介、がんばりの軌跡
- 18 直伝おふくろの味
- 19 子育てファイル／あ～す図書室情報
- 20 ようこそ！私たちの倶楽部に／東京飯豊会会長から新年のごあいさつ
- 21 健康 ikiiki プラス
- 22 お知らせ／戸籍の窓／人の動き／編集後記
- 24 第2回心の古里いいでフォトコンテスト
「シルエット」

町のホームページから さらに情報を！

町からのお知らせや情報は飯豊町ホームページにも掲載しています。大きなアイコンとすっきりしたデザインで、だれでも見やすく、欲しい情報が簡単にさがすことができるように工夫されています。どうぞアクセスし、生活情報に役立ててください。



www.town.iide.yamagata.jp



the most beautiful
villages
in japan

飯豊町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。これからも美しい景観と里山文化に磨きをかけていきます。

今月の 表紙

これまで、いろいろな
ことがありました



お祝いの言葉を聞く横澤さくさん

1月8日、後藤町長が今年数え100歳を迎えられた3名のご自宅を訪問し、賀詞と長寿祝い金を贈り、これまでの長寿のお祝いと引き続いての健康を祈念しました。

3名の方は町長との懇談で、嫁いで来られた当時のことや暮らしがずいぶん便利になったこと、家族や地域への感謝の気持ちなど、1世紀の人生行路を穏やかに話されていました。

年頭のごあいさつ 飯豊町長 後藤幸平

明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

農村社会の可能性を予感させるプロジェクトが続きました。旅行代理店と連携した農村都市交流型ツーリズムの実験事業が、31社9大学11団体との交流実績を上げました。地域雇用創造推進協議会が、地元飲食店主が企画した柿を使った特産品開発プロジェクトに呼応し、商品化を実現しました。しかし一方で、中津川小中学校と県立置賜農業高校飯豊分校の閉校、林道飯豊檜枝岐線の豪雨災害、誘致第1号企業の併合など、厳しい現実にも直面しました。

飯豊町の注目すべき明るいニュースは、出生者数の増加です。5人10人と着実に増加傾向にあります。また産業の出荷額では、就業者一人当りに換算すると域内で上位ランクに入ります。もうひとつがんばりのデータもあります。町に婚姻届をするカップル数が減少傾向にあることです。さらに、年間の転入が150人程度であるのに対し転出は200人前後です。転出には進学によるものがありますからそれを割り引いても転出が多いのは改善すべき状況で、対策を急がなければなりません。

今年飯豊町が力を入れる新政策に、まず「カップル計画」を挙げたいと思います。若者の将来にひとつの夢と覚悟を求める事業を企画します。つぎに

「住まい計画」です。住宅地を造成し、若者の定住化と子育て支援を図ります。そして「仕事づくり計画」です。広大な森林と大地、自然環境を生かした里山エネルギー村プロジェクトによって農・商・工連携の雇用拡大を進め、中小企業振興条例を活用して既存企業の支援に力をいれます。

T P P交渉の展開や農政大転換に直面しているいま、農村の活力が低下せず上向きような諸対策にチャレンジします。「地域自給力向上計画」、「飯豊・農の未来賞」計画」と「コミュニティビジネス計画」などを基軸にして、田園の未来を切り開くための企画提案を公募し、効率だけを優先しない暮らしの満足度アップのための仕事づくりに取り組めます。

第一小学校の全面改築工事が本年始まります。また、保育施設を増設し保育園の定員拡充を図ります。高齢者の介護支援や診療所の充実などを図ります。新潟山形南部連絡道路の早期着工に向け運動を続けます。ライフライン関連施設の長寿命化と新設、特に新しい水源の確保を計画的に進めます。

本年は全国規模の観光キャンペーンや全国育樹祭が県内で開催され、飯豊町も大勢のお客様をお迎えします。「日本でも美しい村」連合加盟の飯豊町は、住民手づくりのまちづくりを「食、住、景観、人、自立」を主要テーマに歩みます。

飯豊町長

後藤幸平

ツサンス



Kohei Goto

本町が加盟する「日本で最も美しい村」連合。その副会長はカルビー株式会社相談役の松尾雅彦氏です。松尾氏は、農山村に幾度も足を運び北海道のジャガイモ農家を中心に全国の農家と契約栽培による生産体制

—山形県や飯豊町の印象についてお聞かせください

松尾 米沢藩の改革をされた上杉鷹山公の残照が感じられ、何か変えたいという意欲のある県だと思います。飯豊町は、住民が自主的に地域活動をされている町だと思います。イザベラバードが称賛したアルカディア（桃源郷）、そう言われ続けられるような地域にしようとして努力されている。

町長に期待することは「夢を見よう」ということです。現実を目を奪われては、いつまでも変えられません。夢から入ることが企業家のやり方です。

—今の提言を町長はどう受けとめますか

町長 松尾さんのような事業を成功された方からの指摘・提言は良い意味で驚きと刺激です。田園散居村を維持するには、今までと違った着眼点で進めなければいけないということだと受けとめます。

松尾 日本社会はどんどん変化しました。特に戦後は農村破壊が進みました。フランスやイタリアの村々も50年前に疲弊しましたが、そこから立ち直ったのです。そして30年前、フランス政府は小さな村々を合併させようとしてきました。この方針とは別の道を選んだ村々が「美しい村」を始めたのです。美しさは自立によって現れると思います。

—美しい村の発祥はフランスですが、西洋と東洋の「美」についてどうお考えですか

松尾 美は極まれば、地域的な特徴がそぎ落とされ普遍的なものになります。

カルビー株式会社相談役

松尾雅彦 >

農村ルネ



Masahiko Matsuo

を構築されました。

新春対談として、農山村と農を取り巻く経済に精通されておられる松尾氏と後藤町長に、今後の農山村について語り合っていました。

聞き手◎役場総務企画課総合政策室長高橋弘之

たとえば、ベートーベンやモーツァルトなどの音楽、美術の世界も然りです。表現は違うかもしれませんが、その美しさは世界共通です。

町長 「最も美しい」という言葉には東洋も西洋もなく、そのような東西の尺度を超えた価値観ということですね。

―農業政策の変化（TPP交渉や減反制度廃止など）をどのように捉えていますか

松尾 減反補助金が農村の力を奪ったと思います。今の農村で元気な人は補助金をもらっていない人たちです。ただ彼らは、本来は地域の方のために栽培しないといけないんですが、大方の生産品を東京に売っているのは残念です。地域の誇りは食と住ですから。

農村で力を入れるべき作物は大豆と米油とトウモロコシだと考えます。大豆の良さはみそやしょう油などの和食の発酵食品に利用できることです。

町長 飯豊にもみそ屋、しょう油屋が何軒ありましたし、今でも地元元の住民による「樅味噌」が頑張っています。松尾 地域の産品を地域で買う。成功の秘訣は、農産物を高く買って大手の3割安で売ることです。

生産量を増やし設備をフル稼働するとコストが半分になります。また、物の値段の9割を占める流通費は地域内で循環することで抑えられます。

農家が作りたくなるように、原料は相場より高く買い取ります。農家は地域の人たちにしょう油などの地元加工品の消費を促す。そういうことを地域の主だった方たちが集まって相談するんです。

町長 製造一筋の方の言葉だから非常に重いですね。流通の9割を地元でグッと引き寄せ、最終的には付加価値の多くを引き寄せると。

松尾 水田地域で取り組みやすいのは米油です。ヌカから食用油を精油するんです。間違いなく美味しい。ただ、精米した米を誰が買うかを見通さないといけません。

町長 米から油。置賜に精油所をつくって、一次加工と最後の商品化する。地域のもので地域で作る。それが自給圏であり松尾さんが提唱する『スマートテロワール』だと思います。自給圏域でコミュニティビジネスの様な農業派生のビジネスモデルを新しく作る。構想が膨らみますね。

松尾 地産地消が浸透したら。次に取り掛かるのは、大豆とトウモロコシですよ。トウモロコシは畜産農家と手を結ぶ。農家は堆肥が、畜産農家は餌が必要。物々交換が成り立ちます。

町長 地域内の連携と循環。町もバイオマスタウン構想を軸に、再生エネルギーを含めた地域計画を策定し、進んでいます。

―農業が苦戦している原因は何だとお考えですか

松尾 原因は3つあると思います。1つは、国が農業に係わり過ぎたこと。地域主義の農業が望まれますが、国は地域や国の枠を取り扱いました。

2つ目は、大手食品会社と流通業者のグローバル化、それに呼応した農家の農地転用。会社は円高になれば簡単に原料を輸入品に切り替ええます。流通では、マーケティング力のある大手スーパーが広がり、地域産品とそれを販売する商店が姿を消しました。そして郊外の大型ショッピングセンターは、農家の農地転用によって誘致されたのです。

3つ目は、農家自身。すべての作物は、栽培技術の向上で反収は上がりますが需要は頭打ちになります。すると土地が余る。水田が余った時に何に使うかが米農家の戦略なんです。飼料用米を作る動きがあります。1品しかできない。畑作なら多様な作物ができます。

町長 飯豊の様な畜産の盛んな地域でも、飼料用米の需要には限度があります。需要に見合うだけの畑地への転換案として小麦はいかがでしょうか。

松尾 小麦を作る気があれば、米、小麦、大豆、トウモロコシの4大穀物というものがあり、それに野菜の馬鈴薯が入って5作物。行き詰まらなければ新たな一步の決心はつかないものです。農業政策の変化は見方を変えるチャンスです。

―このチャンスを町長はどう掴んでいきたいとお考えですか

町長 地域という小さな範囲内での新しい社会政策が必要だと考えます。

農村に新しい改革をもたらすビジネスモデルです。行政が30%。あとは生産者と若者によって成し遂げられると考えます。

松尾 このチャンスに誰が投資してリーダーとなるかですが、イターン者だと思えます。都市には成功を収めて企業をリタイヤした人は山ほどいます。その方に農村の若い方が加わり両者でやるんです。

それには置賜の首長が連携して戦略を示す必要があります。そのサポートを私はしているわけです。

町長 イターン者ですか。飯豊の屋敷林と田んぼの風景を次代に引き継ぎつつ、そのようなことを行えるかどうかが鍵ですね。

松尾 水田は水田として使って、傾斜地を畑に転換するんですよ。

町長 すみ分けをする。そこが重要などこなんですよ。

―農村再興に至ったお考えをお聞かせください

松尾 これまでたくさんものを見て経験しました。農業社会から工業社会へ、地域商店から大手スーパーへ、農村に元気がなくなっていく過程なども。その経験と情報を伝えていくことが、社会と会社への私なりの貢献です。

たとえば人口減少・少子化。農村にとって存亡にかかわり、会社にとつては消費者減です。人口が減るのは子どもを産まないからだと言わ

れるが、私は農村から都市へ人が出て行くからだと思います。都市ではなかなか結婚できず、子どもが増えない。都市から農村に戻れば人口は増えるんです。

農村では、U・イターン者が元氣です。中でも子どもを持った女性は一番強い。子どもを祖父母に預けて都市の経験と感性で働いています。農村でいい青年を見つけて子どもを産んでくれれば、農村は人口増と少子化解消、会社としても消費者増になります。

町長 大変示唆に富んだご指摘です。町が抱える課題解決の糸口を見つけるため「飯豊・農の未来賞」を創設し、土地利用型農業の企画提案を全国から募集しています。農村コミュニティの観点も含めた農の未来賞であることをアナウンスしています。

―最後に町民の方へメッセージをお願いします

松尾 「夢」を見て、描いてください。必ず実現します。現実的なことだけをやっていたら、いつまでも現実は変わりません。仲間と夢を語り合い、実現を祈ればチャンスはやってきます。町長 力強い言葉ありがとうございます。勇気の湧く対談でした。今後ともご指導ご支援をお願いします。

※スマートテロワール食と住の地産地消が成り立つ、自立した特色ある地域。
住民の自主的な活動があり、住宅には地域の木材が使われ、食卓にならぶ食材の自給率が5割を超える地域。



対談後、互いの思いを込めた固い握手



カルビー株式会社本社ロビー（千代田区丸の内）

松尾雅彦

Matsuo Masahiko

○昭和16年2月広島県生まれ○昭和42年カルビー株式会社入社、平成4年代表取締役社長、平成17年代表取締役会長、平成18年取締役相談役、平成21年相談役（現在に至る）○平成17年10月 NPO法人「日本で最も美しい村」連合設立、同日副会長就任○平成20年10月第41回食品産業功労賞受賞
▶最近のお勧め本：シビック・アグリカルチャー▶休日の過ごし方：毎日がサンデーです▶好きなスポーツ：サッカー、ゴルフ



松尾雅彦 × 後藤幸平

平成26年度 第一小学校建設スタート



※イメージ図

グラウンドからの眺め

現在の校舎

現在の第一小学校は築40年以上が経過しているため、町では耐震診断・耐力度調査を実施し、安全性の確認を行いました。

その結果、平成28年度の完成を目標として、老朽化した第一小学校の全面改築を行うこととしました。

これまでの取り組み

平成23年度から24年度にかけ、小学校・幼児施設の保護者、地区代表、専門家、学校により建設検討委員会を組織し、保護者の方々からのアンケート結果などを取り入れながら、新校舎設計の基礎となる基本構想の策定に取り組みました。

その後、策定された基本構想を十分に反映しより良い設計となるよう、設計業者5社から企画提案を受け、それらを有識者らからなる審査会にて慎重に審査いただき、最優秀者を設計者として選定しました。

そして現在は、基本構想を基にしながら町と学校と設計業者等で協議を重ね、各種手続き及び実施設計に取り組んでいるところです。

今後の予定と学校生活

平成26年度は、現在の体育館を

残しながら、プール跡地とグラウンドの一部に仮設校舎を建設します。8月から新校舎完成までの間は仮設校舎での生活となりますが、子どもたちがなるべく今までどおり安心して生活できるよう、快適性に配慮した仮設校舎を計画しています。

その後、現校舎を解体し、新校舎の建設へと移行していきます。

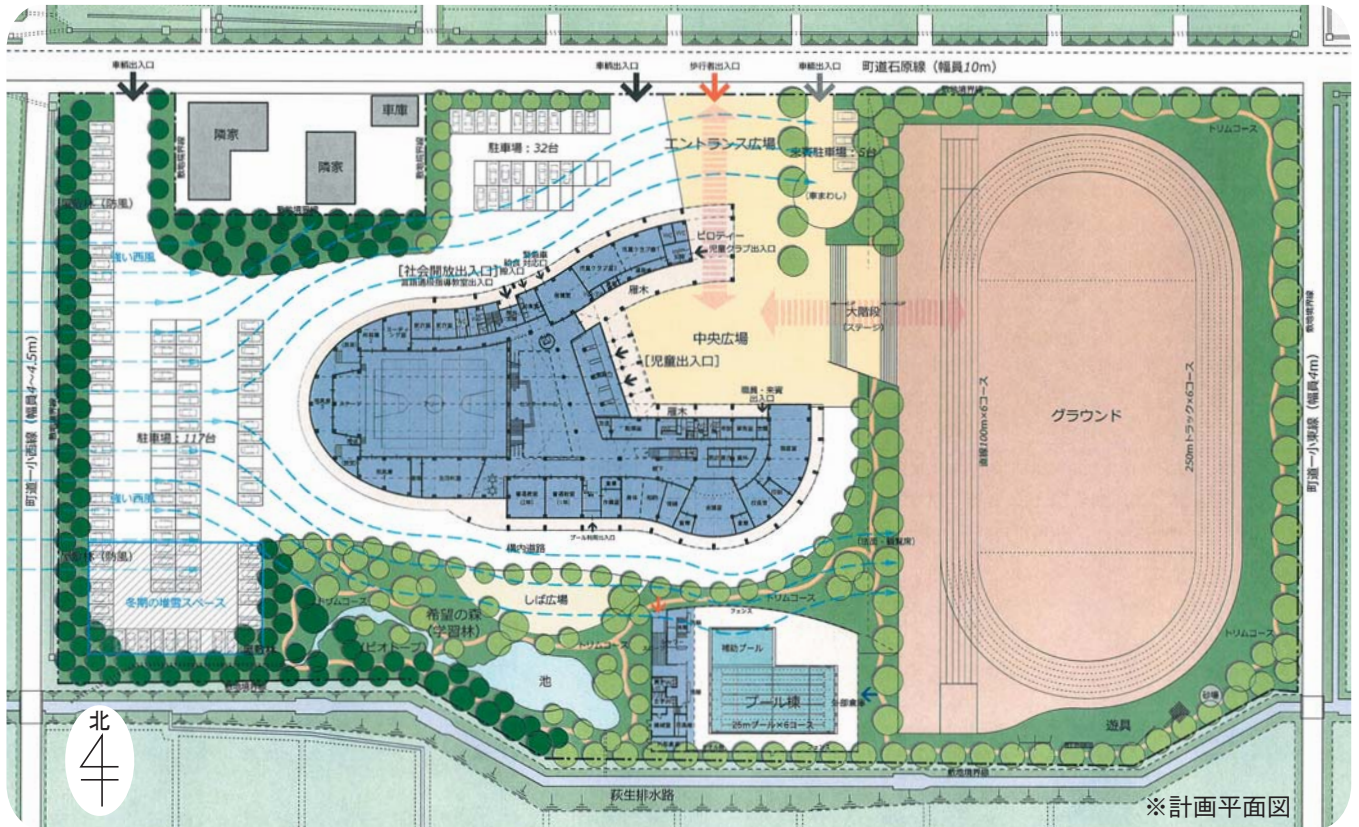
第一小学校長 大村亨夫先生

新しい校舎ができる事、本当に楽しみです。地域のシンボルとして、多くの方々に愛され誇りに思える学校になることを願っています。また、立派な校舎にふさわしい子どもたちを育てていくことも忘れないようにしたいと思います。現校舎に感謝しながら生活していきます。

第一小学校PTA会長

渡部弘之さん

42年前、中、萩生、黒沢の3つの学校が統合され、現在の第一小学校が新築され、私も当時6年生として1年間だけ通学しました。その際、新しい学校だという事で嬉しくて胸を躍らせながら通学したことが昨日の事のように思い出されます。今回の改築のコンセプトのように地域の皆さんに愛される学校になればと祈念しております。



流線形の建物形状は「強い西風に背を向け、両手を広げて広場を抱きながら、風を優しく受け流し、子どもたちを守る建物形態」をイメージし、町民に親しまれる地域のシンボルに！

《新たな第一小学校に取り入れる工夫》

●集ってつながって響き合う空間づくり

- ・体育館と一体となったコンパクトな校舎
- ・1階中央に、子どもが集い交流できるセンターホール
- ・図書室とコンピューター室を統合したメディアセンターを設置
- ・校舎内に木質を多用し、ぬくもりのある内装

●落ち着いた学習できる環境づくり

- ・普通教室を明るい南側に配置
- ・音に配慮した教室配置
- ・ことばの教室エリアを設置

●安全・安心で健康に暮らせる施設づくり

- ・職員室と事務室等の管理部門は、昇降口やグラウンドなどが見える場所に配置
- ・子どもと車の動線分離に配慮

●自然の力を生かすエコスクールづくり

- ・校庭内に、自然に親しめる緑のエリアを整備
- ・太陽光パネルを設置

●四季を快適に過ごせる空間づくり

- ・自然の風を取り入れる工夫
- ・雨・雪を考慮し、校舎周りに雁木ゾーン

●地域の拠点としての学校づくり

- ・学童クラブ室や社会解放エリアを配置
- ・体育館はバスケットコート1面（バレーコート2面）確保
- ・校舎西側に、堆雪エリアを兼ねた広い駐車場
- ・避難拠点としての利用に配慮

●その他

- ・グラウンドを拡張し、250mトラックを確保
- ・補助プールを備えた25mプールを新設
- ・体力向上を考え、敷地内にトリムコースを整備



児童が生き生きと学習し、安全で安心して生活できる学校、夢あふれる地域のシンボルとなる第一小。子どもたち、そして町民の皆さんの大きな期待を受けて、いよいよ本年4月から本格的に工事が始まります。

《今後の予定》

○平成26年4月～7月	仮設校舎建設
○平成26年8月～10月	現校舎解体
○平成26年10月～平成28年3月	新校舎建設
○平成28年4月～	新校舎の使用開始
○平成28年4月～6月	現体育館・仮設校舎解体
○平成28年4月～平成29年3月	グラウンド・プール・外構工事

発見 体験型宝探しゲーム

担当課の方から概要説明を受けた後、班に別れて宝探しゲームに取り組みました。暗号を解いていくと街の中に隠されている宝箱にたどり着きます。道に迷ったり、寄り道をしていて日が暮れてしまったりと、ハプニングがありながらも全ての班が無事に宝箱にたどり着くことができました。

街歩きビンゴ

街歩きも地域の魅力発信について学ぶチャンス！と、企画メンバーが独自に考えたゲームです。ビンゴ用紙に書かれたお題を街の中から見つけだし、写真を撮ってビンゴを完成させます。各班ともビンゴに夢中になり、街歩きを通して多くのヒントを得たようです。



発信 ワークショップ

「飯豊の宝を魅力にしよう！」というテーマのもと、話し合いをしました。飯豊町にも、何気ないところに溢れているたくさんの宝物。また、それぞれの宝物が持つ魅力。それを見つけ出す視点と、それを独創的な手法で発信することを、宝探しゲームや街歩きビンゴの体験をふまえて考えました。メンバーを入れ替えながらグループで話し合い、対話から様々なアイデアが生まれました。時間が足りないほど盛り上がる話し合いとなりました。

未来 いいで未来号、これから

にぎわい再現プロジェクト委員会では、『未来号はスタート』だと考えています。今回もたくさんの学びがあり、楽しいアイデアや新たな交流も生まれました。それは、これから事業や活動を展開するスタートの土台となっていくことと思います。実際に参加者から、「もっと話し合いたい！」「これから活動につなげていくことが大事だね！」「何かできないかな？」という声が聞こえています。これから間違いなく、未来号から新たな潮流が生まれていきます。どうぞ楽しみに、そしてその際には強く応援していただければ幸いです。

参加者の声 (アンケートより抜粋)

- ・とても内容の濃い2日間でした。ここで出たアイデアを、1つでも形にできたらステキですね。
- ・未来号は堅苦しい研修旅行と思っていたけど、楽しかった!! 未来号のイメージが変わった。
- ・希望に満ちた若者がたくさんいて驚きました。



女性参加者も男性にはない視点で研修を盛り上げた

企画メンバーの感想

- ・「参加してよかった」「おもしろかった」という参加者の声を聞いて、頑張ってたかったと思った。
- ・議論を重ねて創った企画を楽しんでもらうことができ、嬉しかった。
- ・会議から笑顔で頑張ってくれたメンバーに感謝!
- ・新しい仲間、にぎわい、笑顔、交流、万歳!!

○「いいで未来号V」の活動の様子を、28日(火)より「あ〜す」に掲示します。ご覧ください。

問合せ先/町民総合センター「あ〜す」 ☎72-3111

～飯豊の宝を魅力にしよう～ いいで未来号⁵V

「いいで未来号V」を昨年11月30日から12月1日の日程で実施し、町内の若者20名が参加しました。秋田県の観光キャンペーン事業である体験型宝探しゲームに参加したほか、主催のにぎわい再現プロジェクト委員会で企画したプログラムも行い、地域の魅力の発信について学びました。楽しさと学びのある2日間を終え、新たな交流も生まれました。

この記事の作成は、にぎわい再現プロジェクト委員会で担当させていただきました。「いいで未来号」に込めた想いをこの場をお借りしてご紹介します。

活動スケジュール

- 1日目
 8:00 飯豊町出発
 14:00 宝探しゲームの概要説明
 15:00 宝探しゲーム体験
 16:00 街歩きビンゴ
- 2日目
 9:00 ワークショップ
 19:00 飯豊町到着

未来号ダイジェスト写真集



出発



秋田美人♥



話し合い



学び



交流



魅力



発見!



町長と語る



未来へつなぐ

- ① 2日間の日程を共にする仲間と顔合わせ
- ② 宝探しゲームの説明を受ける
- ③ 協力して暗号を解き、宝箱を発見

- ④ 街歩きビンゴで街の人と一緒に写真を撮る
- ⑤ 交流が新たな活動のエネルギーとなる
- ⑥ 町長の熱い想いに触れ、意見を交わす

- ⑦ 対話から新たなアイデアが生まれる
- ⑧ 飯豊の宝とその魅力を紙に書き出す
- ⑨ 2日間の学びを今後の活動に発展させる

○申告に必要な書類

町から世帯ごとにお送りする申告関係書類の封筒に必要な書類などを記載していますので、事前に必ずご確認ください。

関係・提出書類がそろわない場合は、再度お越しいただくか、税務署に直接出向いていただくこととなります。

①申告される方全員

- 町民税・県民税個人申告書
- 所得税確定申告書（税務署から送付されている方）
- 印鑑
- 源泉徴収票（給与・報酬・年金）

②各種控除を受けられる方

- 保険料支払証明書（生命・介護医療・個人年金）
- 地震保険料支払証明書（平成18年12月31日までに締結した長期損害保険）
- 農業者年金の領収書
- 社会保険料（国民年金保険料）控除証明書
- 医療費の領収書（種類別に合計してきてください）
- 身体障がい者手帳など（該当する方）
- 障がい者控除対象者認定書
- 寄付金を行った団体の発行する領収書

③農業・営業・不動産などの事業所得申告者（①、②に加えて）

- 収支内訳書
- 米・野菜等出荷額明細書（農業所得者）
- 購買明細書
- 収入、支出の内容がわかる帳簿、通帳など
- 経費に係る各種領収書・証明書

④その他

- 所得税の振替納付や還付を受ける場合は、金融機関名・支店・口座番号がわかるものと通帳の届出印

○留意事項

要介護認定を受けている方へ

要介護認定を受けている方で、「身体障がい者に準ずる者」と認定された場合、障がい者控除を受けることができます。対象となる場合は「障がい者控除対象者認定書」の添付が義務付けられていますので、町健康福祉課福祉室（☎86-2233）から交付を受けてください。

国民年金の保険料で社会保険料控除を受けられる方へ

日本年金機構から発行された社会保険料（国民年金保険料）控除証明書の添付が義務付けられています。忘れず、ご持参ください。

医療費控除を受けられる方へ

領収書は、申告書に添付しなければなりません。種類別にまとめ、合計額を算出してきてください。また、高額医療費や保険の補てん金は、控除額から差し引かれますので、事前に把握をお願いします。

農業・営業・不動産など事業所得のある方へ

事業所得のある方は、必ず帳簿や収支内訳書などで事前に計算をしてくださいます。特に農業収入のある方は戸別補償制度や中山間特別支払制度、各種補助金・賠償金などの受取金額のわかる資料（通知書、通帳）を必ず持参してください。

■持ち物

- ①収入を確認できるもの／売上証明書、売上帳票、伝票、帳簿、支払通知書、通帳など
- ②経費を確認できるもの／収支内訳書、購買明細書、帳簿、領収書、通帳など

○お知らせ

今年1月から記帳・帳簿などの保存制度の対象者が拡大されました

今年1月から、営業や農業などの事業所得、不動産所得または山林所得を生ずべき業務を行う全ての個人白色申告者が、記帳・帳簿などの保存制度の対象者になりました。

所得税の申告が不要な方も対象です。保存期間は5年～7年です。詳細は国税庁ホームページをご覧ください。

e-Tax（イータックス）

税務署に確定申告書を提出すれば役場への申告は不要になります。その際、国税電子申告「e-Tax（イータックス）」が便利です。

町県民税申告書をお届けします（18歳以上全員）

申告相談会

2月5日 水 から開始

町民税・県民税の申告は、町民税・県民税、国民健康保険税などの計算や所得額証明書などを発行するための大切な資料になります。申告が必要な人は、平成25年1月1日から12月31日までの所得および所得控除を申告してください。申告書は1月下旬に郵送しますので、日程表をご確認のうえ申告会場へお越しください。郵送などでも申告書を提出できますので、未申告とならないようにしましょう。

○税申告相談日程表 schedule

月 日	会 場	受 付 時 間	
		午前の部（9:00～11:00） 対 象 地 区	午後の部（13:30～15:30） 対 象 地 区
2月5日 水	役場 1階 談話室	年金収入または給与収入のみで、医療費控除などを受けるために確定申告をされる方 (全 地 区 対 象)	
6日 木			
7日 金			
8日 土	西部地区公民館	町上（手ノ子）・町下	町中・向原
12日 水		八幡・落合・向原北・萩	西高峰・中通・橋本
13日 木		東向・西向	
14日 金	東部地区公民館	上町・昭和	上代・下川原
15日 土		東山・中洞	下町・大旦
18日 火		松原	
19日 水	町民総合センター 「あ～す」	叶内・坪沼	椿第一・厚生・坂ノ下
20日 木		小原・下椿・上野（椿）	財津堂・辻・諏訪
21日 金		農業青色申告者（中西以外の中）	農業青色申告者（中西・小白川・中津川）
22日 土		まだ申告が済んでいない方（全 地 区 対 象）	
25日 火		農業青色申告者（萩生）	農業青色申告者（黒沢・高峰）
26日 水		農業青色申告者（椿）	農業青色申告者（添川・松原・手ノ子）
27日 木		上郷・中郷・駅前	十文字・上野（小白川）
28日 金		深淵西・深淵東	谷地田・吉長・旭
3月1日 土		まだ申告が済んでいない方（全 地 区 対 象）	
4日 火		下野・北上野・野山	
5日 水	中津川地区公民館	岳谷・岩倉・川内戸	白川・下屋地・宇津沢
6日 木		上原・遅谷・数馬・広河原・小屋	
7日 金		中西・北酒町	中北・南新田
8日 土	まだ申告が済んでいない方（全 地 区 対 象）		
11日 火	中部地区公民館	酒町・沖	北新田・中ノ目北
12日 水		高野・寺分・いいでハイツ	町上（萩生）二本松
13日 木		町西	石原
14日 金		萩生町・五反田	中ノ目南・高柳
15日 土		まだ申告が済んでいない方（全 地 区 対 象）	
17日 月	役場3階 委員会室	まだ申告が済んでいない方（全 地 区 対 象）	

対象地区以外の日程でも受付できます。ご都合に合わせておいでください。

ただし、2月21日 金、25日 火、26日 水は、農業青色申告の方だけの相談になります。

まちかどニュースは、皆さんの広場です。
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。
役場総務企画課情報防災室まで（直通☎87-0522）



旧中津川小中学校で「クリスマスPARTY」

学校に集える機会として

12月22日、旧中津川小中学校で「クリスマスPARTY」が行われ、昼と夜の部を合わせて約30名が参加しました。地元住民で組織する学校利活用検討委員会（鈴木泉委員長）が、利活用法の一つとして試験的に開催したもの。昼はケーキ作りやゲーム大会、夜は食事をメインとしてプレゼント交換などが行われました。夜の部のテーブルには地元食材を利用した料理に加え、住民から差し入れられたヤマメ寿司や雪室じゃがいもを使ったスープも並び、華やかで温かなパーティーとなりました。

園児とのふれあい学習

触れ合いから学べるもの



12月2日と4日、飯豊中学校2年生（57名）が、つばき保育園を訪れて「ふれあい学習」を行いました。同学習は、幼児への理解を深めることや自身の幼児期を振り返り周りの人々への感謝の気持ちを育むために行われたもの。生徒たちは園の指導の下、園児の表情や仕草などに気を配りながら、持参した手作り絵本の読み聞かせや折り紙、肩車などそれぞれの得意分野を生かして園児と触れ合いました。

飲酒運転撲滅キャンペーン

飲酒運転撲滅へ、惜しまぬ協力



12月19日、飲酒機会が増える年の瀬の前に、町交通安全協会や交通安全母の会など16名が、町内の飲食店など24店舗を訪問し、飲酒運転撲滅への協力を呼び掛けました。訪問先では、啓発物やチラシを配布するとともに、昨年より飲酒運転検挙者数が増えている現状を伝え「飲酒運転は悪質な犯罪。撲滅への協力をお願いします」と依頼。店側も「飲酒運転をさせないように呼び掛けます」と応じていました。



手ノ子スキー場安全祈願祭

みんなの身近なスキー場

12月28日、手ノ子スキー場で「手ノ子スキー場安全祈願祭」が行われ、関係者約30人がシーズン中の安全と盛況を祈願しました。神事に続いて後藤町長は「集落の中にあるこのスキー場で、存分にウインタースポーツを楽しんでいただきたい」とあいさつしました。その後リフトの起動式が行われ、待ちわびたスキーヤーやスノーボーダーが、積雪十分のゲレンデで初滑りを満喫しました。この日はオープニング企画として回数券の半額販売も行われました。

「TUNAGU」(つなぐ)パートナーシップ事業

健康気づかう良い関係



12月11日、健康福祉センターで、健康づくり活動を通して住民同士の繋がりを強める「TUNAGUパートナーシップ事業」が行われ、一般町民など16名が参加しました。同事業は町食生活改善推進員連絡協議会が開催。協議会役員が講師となって、生活習慣予防法や正しい食事についての講話、減塩メニューの調理実習、加齢による体の衰え予防運動などを分かりやすく講義しました。

「人生、いろいろ」上映会と講演会

人は誰でも主役になれる！



12月7日、あ〜すで、町地域雇用創造推進協議会の企画による「人生、いろいろ」上映会と映画のモデルとなった“葉っぱビジネス”を起業した横石知二氏の講演会が行われました。横石氏は徳島県上勝町で70、80代の女性を主戦力として木の葉を商品として販売する事業を起し、年商2億円まで成長させた方です。講演会では、事業経緯とともに住民との喜怒哀楽のエピソードが紹介されました。



おやこであそぼう IN クリスマス会

ポンポン弾むバルーンと気持ち

12月7日、こどもみらい館で、NPO法人ほっとこどもみらい館の共催による「おやこであそぼう IN クリスマス会」が行われました。町内外から参加した親子連れ約100組は、おねえさんピエロの歌に合わせたリズム遊びや動物の着ぐるみショー、ふわふわバルーン飛ばしなどを楽しみました。フィナーレにはサンタクロースも登場し、子どもたち一人一人にお菓子をプレゼント。次々と行われる多彩なイベントに子どもたちは大喜びでした。

まちかど



スナップショット

「まちかどNEWS」で紹介しきれない地域のできごとを1枚の写真でご紹介します



12/7

ふるさと学園と小学生のそば打ち体験教室 (西部地区公民館)



12/6

農家民宿タブレット講習会 (中津川地区公民館)



12/14・21

飯豊ライオンズクラブの協力によるクリスマス会(町内全幼児施設)



12/14

VOICE PARTY IN IIIDE 「太田裕美コンサート」 (あ～す)



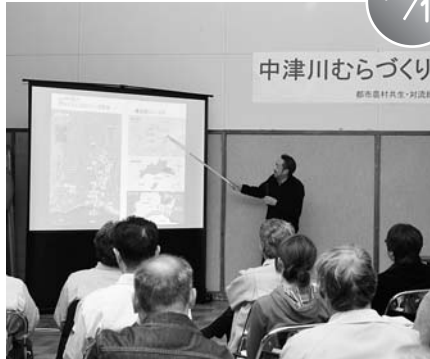
12/7

イルミネーションコンサート (あ～す)



12/18

山形ディスティネーションキャンペーン飯豊町実行委員会 (あ～す)



12/17

中津川むらづくり講演会 (中津川地区公民館)



12/15

わくわくぐりぐら広場 (こどもみらい館)



12/22

正月用寄せ植え作り (白樺地区公民館)



12/21

親子でケーキ作り (中部地区公民館)



12/20

食生活改善推進員養成講座閉講式「委嘱状交付」(健康福祉センター)

山形県県土づくり感謝状受賞

公共土木施設などの利用環境や安全性向上



12月2日、県庁講堂で「平成25年度山形県県土づくり感謝状贈呈式」が行われました。同感謝状は、公共土木施設などの利用環境や安全性の向上について功績のあった個人や団体に贈られます。本町から下記の方々を受賞されました。

◆河川・海岸等の美化、環境保全及び愛護意識啓発活動
 ・萩生まちかみ塾（伊藤賢司代表）／萩生川の河川敷管理や美化活動に従事し、地域の環境改善と住民への河川愛護普及に貢献されています。

◆道路情報伝達業務
 田辺ちず子さん（手ノ子）／21年間にわたり降雪量・積雪深を計測し、県へ報告されています。計測データは除雪計画などに反映され、冬の安全確保に役立てられています。



◆西置賜地区社会を明るくする運動 作文・標語コンテスト

- ◇小学校の部・標語
 優秀賞／館石柚葵（第一小）
 努力賞／竹田瞳彩（手ノ子小）
 安部七海（第二小）

◆山形県少年少女スポーツ交流大会

- ◇卓球／④町卓球スポーツ少年団（男子）

◆「べにばな国体記念」おきたま オープン卓球大会

- ◇シングルス・カブ
 ①加藤誠惟（第二小）

◆シベール杯県ホープズ選抜卓球選手権

- ◇4年生の部／③加藤誠惟（第二小）

◆置賜地区中学校体重別柔道大会

- ◇55kg級／③鈴木光
- ◇60kg級／③塚田朝陽
- ◇66kg級／②伊藤拓馬

◆めざみの里書初め大会

- ◇町長賞／小関蒼汰（手ノ子小）
- ◇教育長賞／嘉藤友紀（第一小）
- ◇めざみの里社長賞／渡部あや乃（飯豊中）
- ◇町観光協会賞／長岡真純（第一小）
- ◇山形新聞賞／佐原芽依（添川小）
- ◇萩生郵便局長賞／志田海優（添川小）

瑞宝双光章受章

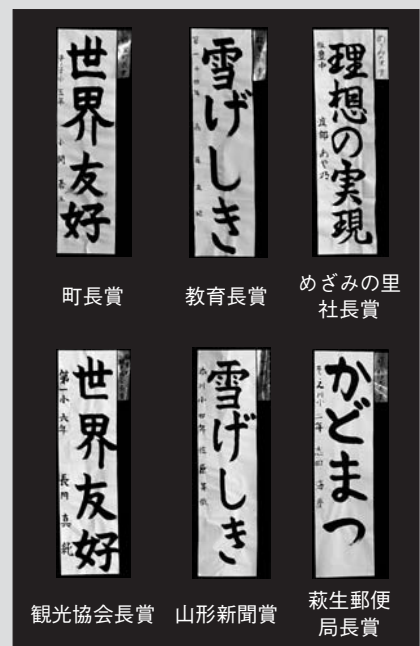
海老名慎一郎さん（白鷹町）

昨年秋の叙勲において、平成14年度から7年間、町教育委員会教育長を務められた海老名慎一郎さんが教育功労者として瑞宝双光章を受章されました。

海老名さんは、昭和37年に教職に就かれ、以来38年にわたり地域に根ざした学校教育の充実と推進に尽力されました。この間、添川小学校と第一小学校の校長も務められました。



- ◇金賞／土田嘉哉斗（第二小）、土田嘉惟斗（同）、志田貴将（添川小）、今夏希（手ノ子小）、多田野怜良（飯豊中）
- ◇銀賞／船山瑛留美（第一小）、船山玲緒奈（同）、富永心涼（同）、佐原大斗（添川小）、平山絵理（同）星綾乃（手ノ子小）
- ◇銅賞／若月乃杏（第一小）、手塚大智（同）、齋藤千紘（手ノ子小）、梅津愛（同）、今麻広（同）、伊藤人輝（同）、齋藤耀（飯豊中）
- ◇審査員特別賞／土田嘉穂（椿・長井高）、佐原雄子（添川）、伊藤恵（手ノ子）、伊藤建（同）



町長賞

教育長賞

めざみの里
 社長賞

観光協会賞

山形新聞賞

萩生郵便
 局長賞

直伝おふくろの味



おこわ

立ち上る温かな香り、膨らむおいしさへの期待

【材料】

◇うるち米	1合
◇もち米	2合
◇ゴボウ(さがき)	100g
◇ニンジン(せん切り)	100g
◇シイタケ(薄切り)	100g
◇油揚げ(細切り)	3枚
◇糸こんにゃく(長さは適宜)	1袋
◇油	少々
◇砂糖	少々
◇ほんだし	少々
◇しょう油	60cc

【作り方】

- 1 うるち米ともち米をとき、炊飯器の「おこわ」の水量に5時間ほど浸してから炊く。
- 2 鍋にすべての材料を入れて煮汁がなくなるまで煮詰める。
- 3 ①を大きなボウルに移して②を加え、全体に混ぜ合わせる。
- 4 ③を炊飯器で温め直したら出来上がり。

いつもの炊飯器を使って、
気軽におこわ料理

黒沢地区
食生活改善推進員
手塚美栄子さん

この料理は、お義母さんから教えていただきました。孫や親族が集まるときにはよく作ります。野菜をあまり食べない息子にも好評です。

以前は蒸し器を使っていましたが、準備の時間や調理中は台所を離れられないなど、少々おつくうでもありました。試しに炊飯器を使ってみると、おいしく簡単に作ることが出来ました。炊飯器によっては具材も一緒に炊き込むことができますが、私はご飯と具材を別々に料理してから混ぜ合わせています。その方が食べたときに「ふんわり」とした食感になるようです。後で混ぜても具材や調味料の味は、しっかりとご飯に染み込みます。具材は多いほうがいいと思います。それぞれのうま味が混ざり合って味に深みが出ますし、香りも良くなります。



こどもみらい館の予定表
(1月・2月の日程)

- 1月28日(火) 10:00～ 簡単クッキング (要予約)
- 29日(水) 10:30～ かんがるー広場
- 31日(金) 10:30～ まめまき
- 2月5日(水) 10:30～ おはなし広場・避難訓練
- 6日(木) 10:30～ 親子エクササイズ教室
- 12日(水) 10:30～ あそびの広場
- 13日(木) 10:30～ 親子エクササイズ教室
- 19日(水) 10:30～ ほのぼの講座
- 20日(木) 10:30～ 親子エクササイズ教室

簡単クッキング チューリップや梅の花などの太巻き寿司を作ります。
1月28日(火) 10:00～ 22日まで要予約

episode

子育てのお話を
お聞かせください

子育て応援
談
kosodate
ouendan

このコーナーでは、これまで保育士や幼稚園教諭などのご協力で、子育ての経験談を掲載してきました。

このたび、町民の皆さまからも子育てエピソードをお寄せいただき、たくさんの方々のさまざまな経験談を掲載していきたいと思っております。あなたの子育てエピソードは、子育て真っ最中の方の助けや励ましになります。「子育て応援談」をお寄せください。

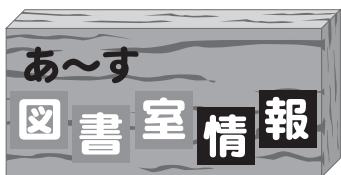
◆募集内容／子育て中に「経験したこと」、「感じたこと」、「考えたこと」、「気付いたこと、気付かされたこと」などです。300文字程度です。

◆提出方法／下記に原稿をお持ちいただくか、広報担当者が皆さまからお話をお伺いします

◆提出・問合せ先／役場総務企画課情報防災室
(直通 ☎ 87-0522)

●こどもみらい館 ☎72-3336

開館日／火曜日から土曜日 休館日／月曜日、日曜日、祝祭日
利用時間／8:30～12:00、13:00～17:00



今月の
おすすめ図書



児童図書

まだだよまだだよ

村上しいこ/作 市居みか/絵 講談社
わたしはおばあちゃんと梅干しを漬けた。「いつたべられる？」ってきいたら、おばあちゃんは「まだだよ、まだだよ」。夏に土用干しをして、秋がきて、冬になって、また春がきて…。待つことの楽しみを思い出す絵本。



児童図書

十二支のおやこえほん

高島純/作 教育画劇
ねずみのお父さんが子どもたちの写真を撮ろうとして「はい、チーズ！」と言うと、子どもたちは「食べたい、食べたい」と大騒ぎ！楽しく心あたたまる、十二支のおやこえほんシリーズ。

一般図書

赤ヘル1975

重松清/著 講談社



1975年、広島カープ初優勝の年。まだ誰も奇跡のはじまりに気づいていない頃、野球少年ヤスと新聞記者志望のユキオは、東京から来た「転校のベテラン」マナブと出会い…。『小説時代』連載を大幅に加筆修正し単行本化。

一般図書

ロックミシンソーイング

ライ・ムキ/著 ブティック社



かんたん、きれいに短時間で作れる！クルーネックのTシャツ、オフタートルのブルオーバー、スカートつきパンツ…。はじめての人でもチャレンジできるよう、ロックミシンソーイングのコツをプロセス写真つきで解説する。

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週月曜日・祝日
- 問合せ先 町民総合センターあ～す図書室 ☎72-3111

ようこそ！ わたしたちの倶楽部に

スポーツ、音楽、芸術、史話、ボランティアなど町内には活動団体がたくさんあります。このコーナーでは、そんな皆さんの活動を紹介していきます。



ソフトボール

樫第三ソフトボールクラブ

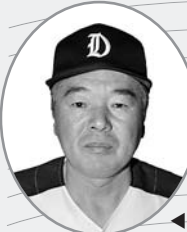
- ◆監督／後藤信義さん(樫)
- ◆活動内容／町内のソフトボール大会や西置賜地区、置賜大会に出場。練習は自主練習を基本とし、大会前には飯豊球場で集中して行う
- ◆会員募集対象
年齢・住所は不問。野球・ソフト経験者歓迎！

●樫第三ソフトボールクラブへの入会・見学などのお問い合わせは、知り合いの会員の方、もしくは監督の後藤信義さんまで☎72-2355

◆ピアーール

当クラブは平成元年に樫地区の上野・駅前・坂ノ下の野球経験者が主要メンバーとなって設立されました。現在は樫地区以外の方も所属しています。年齢層は幅広く、昨年成人を迎えた方から還暦を越えた方まで、総勢17名が所属。大会では、速球派の若手ピッチャーと巧みな投球術の玄人ピッチャーの2枚看板がゲームをつくり、チャンスに強打で一気に攻めるのが、当クラブの勝利の方程式。

「勝ちを意識しつつも、選手の気持ちに余裕が生まれるような雰囲気づくりを心がけています」と後藤監督は話します。



後藤さんにとって
ソフトボールとは…
**世帯を超えたつながりを
生み出すもの**

◀後藤信義さん

東京飯豊会からふるさとの皆様へ 新年のごあいさつ

東京飯豊会会長 山口弘二



心に残る塩加減

ふるさとの味に飯豊人を実感

飯豊町の皆様 新年明けましておめでとうございます。

私は海外旅行によく行きます。外国特にヨーロッパでは食べ物美味しいとは思えません。ライスがあっても主食ではなく副食として出される物でぼろぼろのお米です。最近政府が日本食を世界文化遺産として申請し、登録されたとのニュースがありました。日本食は味わいの深さ、季節の食材、色彩、形の美しさ、さらに栄養バランスも整っておりすばらしいと思います。

外国では日本食レストランが増えています。パリに行って驚いたのはある街角に軒並み寿司店が

有り、多くのフランス人が箸で食べていました。ただ、どの店も経営している人、寿司を握っている人は日本人ではなくアジア系の人でした。そのうちの一軒に入って食べましたが日本で食べる寿司のおいしさには遠く及ばない物でこれが寿司と思われるのが非常に残念な思いがしたのです。

飯豊町に帰るとお米のおいしさ、漬け物のおいしさに感無量です。飯豊米の白いご飯に丸なす漬や青菜漬があれば食欲が大いに増します。これがふるさとの味そのものです。

やまぐち・こうじ
1938年飯豊町大字宇津沢生まれ。前職は榎本田技術研究所主任研究員。埼玉県所沢市在住。2010年4月東京飯豊会会長就任



健康福祉課からの健康コラム

health column

健康に関する身近なテーマを2つ取り上げて、皆さんの健康づくりを応援します。



今月の
テーマ

- ・ 幼児期とメディア^{※1}
- ・ 姿勢を正す運動

「おもいやり」のある子に育てたいというのはどの親御さんでも思っていることでしょう。人の気持ちが変わる、相手の表情や小さな動きをキャッチして思いやるこゝとが出来ると、やっとなんかいいことと分かるなど人間関係においてとても大切なことを育む脳の部分を前頭葉といい頭の前の部分にあります。

幼児期は前頭葉が活発に発達する時期です。しかしゲームやテレビを見ている時間は脳の前頭葉をほとんど使っていません。前頭葉はメディアとの接触時間が長いほど働くことなくさび付いていきま

子どもたちの周りはさまざまなメディアであふれています。テレビにおいては、先進国の中で見る時間が最も長いのが日本と言われています。子ども向けビデオやスマホ、またゲームの普及により、子どもがメディアに接触しやすい環境がつけられています。

安全性の検証もされないまま売りに出されており、長時間使用や依存することにより正常な発達を妨げられ、その結果「メディアの弊害は子どもたちが引き受ける」ことになってしまいます。

前頭葉は人間らしさの要^{かなめ}

す。このさび付いた状態が続くことによつて、「落ち着きがなくなる」「イライラする」「ボーっとする」「表情がなくなる」などの状態に陥っていきます。

もっと「人間らしさ」を大切に

メディアに子守りをさせていませんか？ 発達段階にある子どもはメディアと現実の世界を区別できなくなり、人との関わりを持つとうとしなくなります。

成長の著しい幼児期にゲームやテレビ使用が多い子は脳ばかりではなく体も十分に発達することが出来ません。もっと体をたくさん使つて遊ぶ、絵本を読み聞かせてあげる、一緒に洗濯物をたたむなど、自分の体をたくさん使つて周りの人や実物との関わりを持たせましょう。時には喧嘩も大切な勉強です。「喜怒哀楽」を豊かに表現でき、他人を思いやることができると人間らしい感覚を育てていくことが幼児期はとても大切なことです。

※1…メディア情報の記録、伝達、保管などに用いられる物や装置
※2…スマホ、インターネット機能を持つ携帯電話

背筋をのばして体も元気②

年を重ねるとともに猫背になっていませんか？ 猫背になり体が縮こまると、大きく息を吸ったり吐いたりするのが大変になります。呼吸しやすくなると新鮮な空気が体内に取り込まれるため、健康につながります。姿勢を正す運動を紹介します。

●猫背を治す体操【目標3回】

- ①椅子に座わり、肘を直角に曲げて、腕を後にまわして胸を張ります
- ②しっかりと背筋を伸ばした状態で10秒数えてから力を抜きます



●腹筋を鍛える体操【目標5回】

姿勢を悪くした状態(ア)と、背筋を伸ばした状態(イ)の中間の姿勢(ウ)を10秒間保ち腹筋を鍛えます



腹筋に自然に力が入る位置が目安です

飯豊町役場

電話 0238-72-2111

FAX 72-3827

ホームページ www.town.iide.yamagata.jp

Eメール iide-info@town.iide.yamagata.jp



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区公民館	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区公民館	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区公民館	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区公民館	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
附属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区公民館	☎72-2242	中津川駐在所	☎77-2110

無料税務相談

東北税理士会長井支部では、「確定申告期および税理士記念日」に税務相談を無料でを行います。

◆相談時間／10:00～15:00

◆相談日程

期日	担当税理士	会場
2月12日 (水)	金田和夫	長井市館町南 ☎88-9159
	渡邊美津夫	長井市台町 ☎87-0057
	海老名信乃	白鷹町十王 ☎85-4548
2月13日 (木)	長沼安義	飯豊町樺 ☎72-2400
	長澤修司	長井市館町南 ☎88-9159
2月14日 (金)	土屋正昭	白鷹町十王 ☎85-0326
	須貝周一	長井市新町 ☎84-2502
2月21日 (金)	全会員	各事務所 長井税理士法人

◆相談方法／事前にご連絡の上、ご利用ください。会場の詳しい住所はその際にご確認ください

やまがたゆきみらい大賞の募集

雪国の伝統・文化の継承や、雪の利活用、雪を克服する活動など、雪国の住みよい暮らしづくりに貢献している個人や団体を募集しています。

◆応募対象者／県内で雪に関して積極的に取り組んでいる団体または個人

◆応募期限／2月7日(金)

◆応募方法／自薦他薦を問いません、下記にて配布している応募用紙に記入して提出してください

◆応募・問合せ先

やまがたゆきみらい推進機構事務局
(村山総合支庁総務企画部北村山総務課内) ☎0237-47-8609

中小企業振興事業費補助金 第3次募集のお知らせ

町は、中小企業者が雇用を伴う設備投資などを行った場合に助成します。

申請をお考えの方はお早めにご相談ください。

◆対象者／町内に事業所などがある中小企業者 ※ほかにも条件あり

◆補助額／種類と条件により補助率が異なります。10%～30%が主です
※補助金額に上限があります

◆補助金の種類／・新製品・新技術開発補助金 ・設備投資支援補助金 ・雪対策補助金 ・再生可能エネルギー導入支援補助金 ・雇用促進補助金

◆申請の方法など

○雇用創出を伴う事業計画を記載した「雇用創出計画書」を提出。その後、補助金の交付申請書を提出

○補助金交付の審査の際に、審査会に出席いただく場合があります

◆決定方法／審査会により決定します

◆第3次募集期限／1月31日(金)

◆申請・問合せ先／役場商工観光課産業連携室 ☎87-0523

関西山形県人会からの お知らせ

関西山形県人会は関西地方に住む山形県出身者や県ゆかりの方など300名によって構成された親睦団体です。名誉会長は山形県知事です。

ホームページなどにより活動を広くアピールするとともに会員を募集しています。ご親戚や知人に関西在住の方がおられましたら当会をご紹介ください。

◆ホームページ

<http://kansai-yamagata.com>

◆申込・問合せ先／関西山形県人会青壮年部長 渡邊 ☎090-5643-6715

町の奨学金制度を ご利用ください

高校や大学への進学にはいろいろな費用がかかります。町は、夢の実現のため「学ぶ」学生・生徒の皆さんを支援します。このたび、入学一時金の創設や所得要件緩和など、より充実した利用しやすい制度に改正しました。

◆申込資格／申込時点において次のすべてを満たす学生や生徒

- 町に住所のある世帯に属する方
- 高校・短大・大学またはこれらに準ずる学校などに在学または在学見込みで、経済的理由により修学が困難な方
- 所得要件を満たす世帯に属する方

◆貸与内容／学校などの種類に応じ、次の月額および入学一時金を限度に貸与します

- 高等学校またはこれに準ずる学校
月額2万円・入学一時金10万円
- 短期大学またはこれに準ずる学校
月額2万5千円・入学一時金30万円
- 大学またはこれに準ずる学校
月額3万円・入学一時金30万円
- 特別な研究修学を行う学校で、町長が特に認める場合
月額5万円・入学一時金100万円

◆償還方法／卒業後1年は据え置き、2年目から10年以内の均等償還です。上位学校に進学した場合は償還を延期することができます

◆申込方法／指定様式に必要な書類を添えて下記申込先へ提出。指定様式は下記申込先で交付するほか、町ホームページからダウンロードできます

◆受付期間／2月3日(月)～3月28日(金)
8:30～17:15 ※(土)祝を除く

◆申込・問合せ先／役場教育文化課学校教育振興室 ☎87-0519

戸籍の窓

(12月届け出分)

ご結婚おめでとうございます

住所	氏名
(添川田辺正彦さん 長井市山田亜衣子さん)	
(椿鈴木淳志さん 南陽市鈴木由美さん)	
(萩生遠藤康太さん 萩生高橋舞さん)	

お誕生おめでとうございます

住所	氏名	ご両親
椿堀江	柊李くん	(龍弘幸)
上屋地船渡川	雪乃ちゃん	(賢葉一月)
中矢久保	沙那ちゃん	(秀幸あすみ)
高峰伊藤	希史斗くん	(奨恵悟美)
萩生樋口	凜翔くん	(哲大あゆみ)

心からおくやみ申し上げます

住所	氏名	年齢
添川上代	佐原せんさん	86
高峰西向	佐藤なをさん	86
椿諏訪	長沼愛次さん	80
椿財津堂	長沼清次さん	85
椿椿第一	船山俊子さん	88
椿上野	北原祐藏さん	86
椿下椿	岩野扶美子さん	54
高造路	岩倉伊藤勇二さん	72
高峰中通	寒河江ケイ子さん	66
添川下町	高橋よしさん	87
中沖舟	山なかさん	89
添川(みさゆ)	山口すみさん	96
萩生町上	松山與市さん	91
遅谷	伊藤きみこさん	88

※この欄に掲載を望まない場合は届出の際にお申し出てください。

人の動き

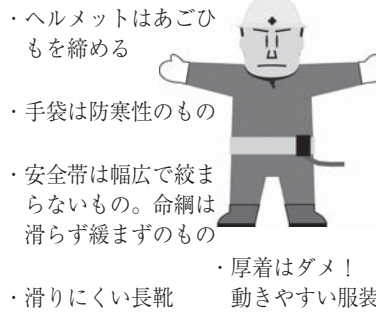
12月分 () 内は対前月比				
世帯数	2,397 (-4)	転入	15	
人口	男	3,827 (1)	転出	18
	女	4,044 (-13)	出生	5
計	7,871 (-12)	死亡	14	

安全な雪下ろしのために

雪による事故原因で最も多いのは、屋根の雪下ろし中の事故です。安全のため、次のことに留意しましょう。

- ◆ポイント／・2人以上で作業 ・雪のゆるみに注意 ・はしごはしっかり固定 ・足場をいつも気にかける ・使いやすい除雪道具で ・無理な作業はやめましょう

○安全な服装の例



- ◆問合せ先／山形県企画振興都市町村課 ☎023-630-2680

「あ～す」図書室 蔵書点検に伴う臨時休館

「あ～す」図書室は蔵書点検などの作業を下記の日程で行います。期間中は休館のため、貸出業務や相互貸借などはご利用いただけません。返却はブックポストをご利用ください。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

- ◆休館期間／1月28日(火)～2月3日(月)
- ◆問合せ先／町民総合センター「あ～す」図書室 ☎72-3111

【お詫びと訂正】12月号13ページの山形県・県民福祉大会で表彰を受けられた手塚勝助さんの住所に誤りがありました。正しくは萩生です。お詫びして訂正いたします

公立置賜総合病院のボランティア募集

公立置賜総合病院では、より行き届いたサービスを患者へ提供するため、お手伝いいただけるボランティアを募集しています。

- ◆活動内容／・各外来への患者の誘導や案内 ・図書やパンフレットの整理整頓 ・飾棚のレイアウトや作品提供 ・車椅子の清掃や点検 など
- ◆活動時間／週1回程度。平日8:30～17:00の3時間程度
- ◆その他／年齢性別不問。交通費は自己負担です。1日研修があります
- ◆問合せ先／公立置賜総合病院総務企画課総務係 ☎0238-46-5000

山形県立農業大学校「研修生」募集

農業を始めようとする方や新分野の導入・農産加工を目指す方を募集しています。受講料は無料です。

- ◆コース・募集人数
- 新規就農支援研修コース・50名
- 農業ビジネス支援研修コース・30名
- ◆研修期間／平成26年4月～翌年3月
- ◆研修先／農業大学校のほか農業関係試験研究機関や先進農業経営者など
- ◆応募期限／3月14日(金)まで
- ◆応募・問合せ先／山形県立農業大学校(新庄市) ☎0233-22-8794

人権擁護委員

1月1日、熊野昌昭氏(手ノ子)が、法務大臣からの委嘱を受けて人権擁護委員になられました。現在の人権擁護委員は下記の方々です。

- ・手塚久美子氏(萩生)・茂木栄子氏(添川)
- ・高橋敏夫氏(高峰)・熊野昌昭氏

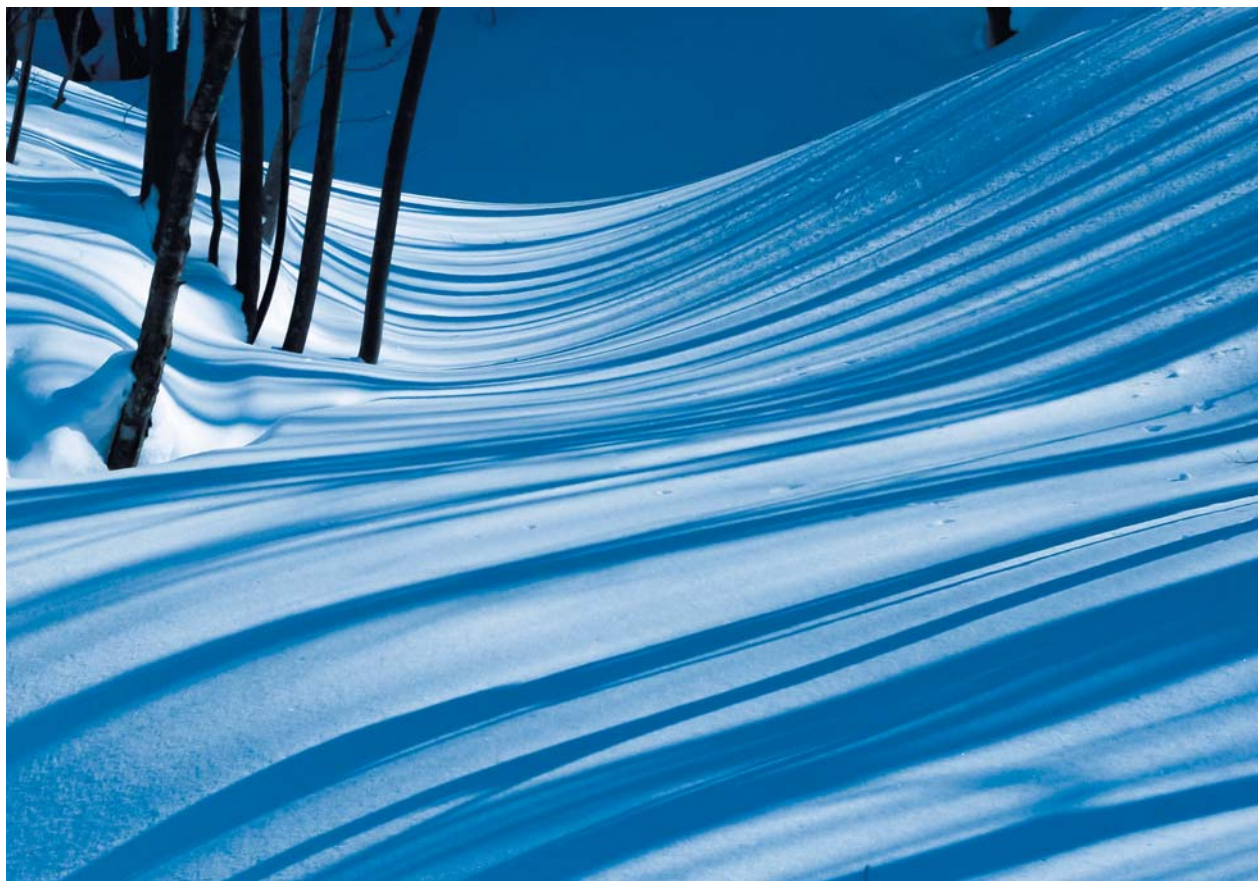
◇あけましておめでとうございます。今年もご愛読よろしくお願ひします。冬本番となり皆さんもいろいろな方法で、暖を取られていらっしゃると思います。こたつ、石油・薪・電気ストーブやパレットストーブなど。過日、取材で訪れたお宅で初めて目にする暖房機器に出会いました。石油ストーブの上に取り付けられた厚さ3cmの四角い金属製の物体。中で不凍液を温めてカーペットの下に回しているそうです。20年以上前に購入したとのこと。「石油ストーブで足裏を温める。原理は簡単ですが発想に驚きました。(かつみ)



第2回 心の古里いいでフォトコンテスト

テーマ：ふるさと感じさせる飯豊の風景、自然と四季・人・花・樹木

入選 「シルエット」



ISO400 1/1600秒 F8

佐藤秀明審査員の講評

美しい影ですねえ。こういう造形的な写真は少しのミスでも目立ってしまいます。写っている樹木でさえ造形的でなくては困ります。例えば、左手前の樹がその奥の樹と重なっているのが気になりませんか？ さらに言えば、右下の不規則な影も。

審査員 佐藤 秀明氏

日本大学芸術学部写真学科卒業後、世界中の辺境を旅し、自然と人間、文化を独自の視野で撮り続けておられます。

⑦

Series

掲載順について
季節に合わせて受賞作品を掲載します

受賞のよろこび

この度の受賞ありがとうございます。飯豊町の風景が好きで特に飯豊山を中心にして中津川、小屋集落、白川湖周辺と四季折々に何度か出かけています。この度入賞したシルエットも朝焼けの写真を撮影したく寒い朝の暗いうちに出かけた時の帰り道で撮影した作品です。

これからも飯豊町に出かけ風景写真を写し続けて行きたいと思います。

高橋 信弘さん（米沢市）